^{令和 2 年度} 事務事業評価シート

令和 2 年 6 月 26 日作成

_	1010							•••			• •		11 //	
事務事業名 小通線道路改良事業						▼ 実施計画登載事業								
	TL 5/5 /2	All Contract to the	± ## ## PP				予算科目							
政	政策名	週~週~週~に満ちた快通	事業期間						項	目	事業			
策体	施策名	2 0 良好な生活空間(単年度のみ			01	08	02	03	64			
系	基本事業名	0 1 生活道路の整備		単年度繰返 (開始	年度	€~)	01	06	02	03	04			
	根拠法令]					事務	事業	区分				
	部課名	都市整備部建設課 ☑ 期間限定複数年度							▲ 花笠声类 6 佐乳敷供					
戸		金野尚一		【計画期間】			A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等				1佣 生			
厚	属 係名	土木係	電話 0192-27-3111 26 年度 ~							度 E 一般(A~D以外)				
担当者 熊谷孝弥 内線 316					*	※全体計画欄の総投入量を記入						(A - DØ/F)		
		(具体的なやり方、手順、			は全体	は像を記述)	1	全体	十画(※	期間限	定複数	年度の	み)	
		107号を起点とし県道唐丹日頃							国庫	支出金	Ž	86	5,101	
		大船渡市日頃市町字平山地内					総	, J	才	存県支出3			,	
	則父差して、単 の安全確保が[両通行の優先順位が分かり難	い状況となってい	る父差点の改良	を行り。	今回の改良により、通	投	事》	泉地	也方債		78	3,657	
	ル女主権体がは ・画期間】	回りれる。					λ	業費	7 7	の他			,	
	[略設計(1式)]	区成26年度					量	复	— <u>;</u>	般財源		11	,674	
		式) 平成27年度			_		事業費	計 (A))	176	5,432			
•修正設計(1式)平成29,30年度 - (4 正規職									E規職員	従事人	.数		14	
		業務 工事施工170m 令和元			十円	件	延べ業	務時間		1	,788			
		、令和2年度の予定である。			~	費	人件費	計 (B)		7	,152			
事	事業費は、委託	料、土地購入費、補償金、工事	事費、事務費とし`	て支出される。				7	タルコス	├ (A)+(B)	183	3,584	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標						
① 手段(主な活動)		(5)	活動指標	(事務事業の活動量を	表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)				名称		単位
工事施工 補償	1	ア	用地買収	面積		m²
用地買収 今年度計画(今年度に計画している主な活動)	7	イ	整備延長			m
工事施工 補償		ゥ				
		6	対象指標	(対象の大きさを表す打	 信標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等				名称		単位
市道舟野線、郷道線、小通平山線、落合線	1	カ	計画総延	툿		m
	7	+	主たる利用 当り平均人	月者数(路線周辺の 、口)	の世帯数×1世帯	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		Ь				
利便性が向上するとともに、安全に通行できる。	/	2				
	1	7	成果指標	(対象における意図の	達成度を表す指標)	
	7	_		名称		単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	十分な幅員	員で舗装された供	用開始道路延長	m
安全で快適に移動できる。		シ	整備率(計	·画区間整備済延	長/計画総延長)	%
	\	ス				
② 総事業費・指標等の推移		<u> </u>				
年度 0.7 年 (中)(中)			rt (rt./±)	20 to to (to (±)	- + + (th/t)	o F ch / D las)

(2) 心于不良 10 休亏(7)正19											
					年度 単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
		国庫支出金 都道府県支出金 内 4.00世		千 円	10,215				23,768	9,618	
	車				千 円						
	事業費				千 円	6,500			4,000	21,300	8,657
投	本	訳	その他		千 円						
		一阪別派		千 円	340			266	2,468	4,300	
入量		事業費計(A)			千 円	17,055	0	0	4,266	47,536	22,575
里	人	正規職員従事人数			人	2	2	2	2	2	2
	件			時 間	464	80	160	160	400	100	
	費	人件費計(B)			千 円	1,856	320	640	640	1,600	400
		トータルコスト(A)+(B)			千 円	18,911	320	640	4,906	49,136	22,975
		ア			m²	0	0	0	0	1755	1755
			⑤活動指標		m	0	0	0	0	170	170
		ウ				_	_	-	-	-	_
				カ	m	100	100	100	100	100	170
	⑥対象指標 キ ク			人	147	147	147	147	147	147	
					_	_	-	-	-	_	
		#			m	0	0	0	0	100	170
		⑦成果指標シ		シ	%	0	0	0	0	59	100
		ス				-	_	_	-	-	-

事務事業名 小通線道路改良事業

(3) 事	務事	丰業	ര	環:	堷犭	항사	1.01	住	早	音	텦	쏰

1640

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

改良箇所は、変則5差路で車両通行の優先順位が分かり難いうえ、橋梁部が狭隘のため車輌の通行に支障をきたしている状況のため、地域から改良を熱望されていた。交通安全の確保を図るため、平成26年度から事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

長年地域から改良の要望があったが、さらに強い要望となっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

	① 政策体系との整合性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ おびついている ⇒【理由】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
目	この事務事業の目的は当市の政策体系に 結びつくか?意図することが結果に結び ついているか?	改良(一部新設)整備により、安全・快適に利用できるので、都市環境の向上につながる。
的妥	② 公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ 妥当である ⇒【理由】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
目的妥当性評価	なぜこの事業を当市が行わなければなら ないのか?税金を投入して、達成する目 的か?	公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
価	③ 対象・意図の妥当性	見直し余地がある ⇒【理由】適切である ⇒【理由】
	対象を限定・追加すべきか?意図を限 定・拡充すべきか?	この市道は、未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性評価	④ 成果の向上余地	□ 向上余地がある ⇒【理由】□ 向上余地がない ⇒【理由】
	成果を向上させる余地はあるか?成果の 現状水準とあるべき水準との差異はない か?何が原因で成果向上が期待できない のか?	十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【理由】影響有 ⇒【その内容】
Ш	事務事業を廃止・休止した場合の影響の 有無とその内容は?	安全で快適に利用できない。
	⑥ 事業費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由】 □□ 削減余地がない ⇒【理由】 □
価	成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協力 など)	必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☑ 削減余地がない ⇒【理由】 ラ
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
平	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある ⇒【理由】 ¬公平・公正である ⇒【理由】 ¬
性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて 不公平ではないか?受益者負担が公平・ 公正になっているか?	一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 (2) 全体総括・今後の改革改善の内容 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止 (2) 全体総括・今後の改革改善の内容 令和2年度に事業が完了する予定である。

-2/2 -